



## ■平成27年の新春にあたり

公益社団法人静岡県建築士会 会長／佐藤博行

新年明けましておめでとうございます。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年6月の総会以来、関係各位には静岡県建築士会の運営に大変ご協力を頂き、おかげをもちまして公益社団法人として、4年目の年明けを迎えることが出来ました。これも一重に諸先輩並びに会員の皆様のご尽力ご協力の賜物と感謝を申し上げる次第であります。

昨年は大雪に始まり、客船の沈没、旅客機の墜落、大雨、土砂崩れ、火山の噴火、地震、戦争そして金融緩和やアベノミクスを問う選挙と、暇の無いほどいろいろなことが相次ぎました。

会務運営もこのような世相を反映してか、特に会員数や財務状況に於いて決して順風満帆ではなく、試行錯誤の連続でありました。

政治や経済のグローバル化の中で、我が国の建築業界を巡る環境もますます予断を許さない状況となっており、先行きがより一層不透明な時代が続いていく事と考えられます。我々もその波から逃れることはできないことは、確りと承知していかなければなりません。

このような中で、私達建築士は「希望とプライド

を持てる建築士会」を目指し、自己研鑽に励むと共に切磋琢磨し合い、その技術と能力を十分に発揮して、地域と共に生き、地域に密着した活動を通じ、直接、間接的に社会に貢献しなければならないと考えております。

会員自らが熱き心を持って、会員相互のため、建築士会のため、社会のために尽力できるよう、引き続き会員増強策を推進すると共に、当会の体力強化に一層努めてまいりますので、会員の皆様には改めてご支援ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして、健康で明るくそして笑顔がいっぱいの良い年でありますよう心からお祈り申し上げますとともに、ますますのご発展とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

